

令和2年度 第1回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録（概要）【書面会議】

期 間	令和2年5月19日（火）から令和2年5月27日（水）
委 員	黒岩史郎会長、菊地謙副会長、江間由紀夫委員、渡辺浩隆委員、山根清孝委員、金子あかり委員、松見和樹委員、松村桂子委員、井手勝則委員、小川洋委員、山本幸子委員、高木由美子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、西出信夫委員、會澤奈穂子委員、早坂ひとみ委員、石塚友子委員、三浦健委員、林宏幸委員（鎌ヶ谷市社会福祉課長）、館岡文委員（鎌ヶ谷市健康増進課主幹）
事務局	（障がい福祉課）星野里香課長、井上隆課長補佐、中村浩主査補、鈴木俊雄
添付資料	
資料1	令和2年度 第1回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会会議資料
資料2	第二期鎌ヶ谷市障がい者計画（平成23年度～32年度）
資料3	第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画・第1期鎌ヶ谷市障がい児福祉計画（平成30年度～平成32年度）
資料4	鎌ヶ谷市障がい者施策に関するアンケート調査ご協力のお願ひ
資料5	「第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画」策定のためのアンケート調査ご協力のお願ひ
資料6	「第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画」策定のためのアンケート調査結果報告書
別 紙	令和2年度第1回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会・意見提出票
内容	

1 はじめに

今回の書面会議につきましては、令和2年度が『第3期鎌ヶ谷市障がい者計画』の計画策定作業の年にあたり、計画策定のスケジュールの関係から先延ばしできない内容があるため、文書のやり取りによりご意見を伺うものです。

また、通常年度初めの会議では、各種の報告などがありますが今回については、計画策定関係の最低限の内容とさせていただきます、その他の内容については次回に繰り延べさせていただきます。

2 委員の変更について

資料のとおり報告。

3 計画についての委員からのご意見とその対応について

「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員の皆様のご意見と対応について（抜粋）」のとおり。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和2年7月16日

氏名 黒岩 史郎 _____

氏名 飯高 優子 _____

鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員の皆様のご意見と対応（抜粋）

この度は、計画策定に係るアンケート調査に対してご意見をいただきありがとうございました。
当方だけでは気付くことのできない視点からもご意見をいただき修正の参考とさせていただきます。
全てのご意見を反映させることはできませんでしたが、ご意見に対する対応について報告させていただきます。

(1) アンケート全体について

No.	ご意見	対応
1	文書の説明だけでは理解が難しいことも多いので、問合せ等があった場合は個別の配慮をお願いします。	問合せがあった場合、個別に対応させていただきます。
2	アンケートの実施については郵送以外にもQRコードの活用なども今回入っており少しでも回答してもらいやすくなっているのではと感じた。	ありがとうございます
3	視覚障がいの方へのアンケートはどのよに行われるのでしょうか？	点字の調査票の作成の予定はありません。視覚障がいの方にアンケートが送付された場合、基本的にはご家族やヘルパーさんなどを介して記入いただく形になると思います。申し出があれば障がい福祉課でも記入のお手伝いをさせていただきます。
4	WEB調査の方が良いと思う方もいると思うので良い試みだと思います。	ありがとうございます
5	アンケートの項目が多く障がいをお持ちの方の負担にはならないか、対面などでの聞き取りにしてはどうか？ 全体的に質問量が多いと思うがどうか？	個人向けアンケート調査の主な目的は、国の基本指針に基づき適切なニーズ量を見込むために行うもので、そのためには、一定量のサンプルの数が必要になります。多くの方から回答を得るためには現状郵送でのアンケートが有効な方法であると考えます。 委託業者に確認したところ、今回障がい者計画（障がい者のための施策に関する基本的な考え方や方向性を定める計画）の策定もあるため、どうしても16頁程度の量になってしまうとのことです。他市の同様の調査では25頁程度になるところもあり、16頁は平均的な分量とのことです。回答者の皆様には少なからずご負担をかけることとなりますので、心理的負担をできるだけ軽減できるように、冒頭に「設問数」を記載させていただきます。
6	今回のアンケートは障がい者を取り巻く状況を良く把握され、現在の社会情勢だけでなく将来を見据えた質問項目もたくさん盛り込まれており、計画策定にふさわしいと思う。	ありがとうございます

(2) アンケート調査票（案）について

冒頭説明文

No.	ご意見	対応
7	冒頭の説明のところで今回のアンケート調査の内容を考えていただく対象期間を明記したほうが良いのではないかと。新型コロナウイルスの問題による影響を除いた期間を指定してはどうか？	アンケート結果が新型コロナウイルスの影響一色になってしまうことは避けるべきですが、設問の内容から一律で対象期間を設定することは難しく、設問ごとに対象期間を設定することも設問が複雑になってしまうため対象期間の設定は見送らせていただきます。 ◎ただし、設問13、14については、回答者がどの時点の内容で答えればいいのか迷うことも想定されるため、問13には「 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう休校や外出自粛要請期間以前の状況でお答えください</u> 」、問14には「 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう休校や外出自粛要請期間以前の状況も踏まえてお答えください</u> 」という一文を追記します。
8	設問の説明で「あなた（宛名のご本人）」となっているところと「あなた」のみのあるところがあるが、設問の内容を誰の意見として答えてもらうかは重要なポイントだと思う。（1）あくまで本人の意見として調査するのか、（2）本人、家族の意見を調査するのか整理した方がいい。（2）の場合、意見が本人のものなのか、区別できるように工夫をした方がいいのではないかと？	個人向けアンケートは、設問1にあるとおりの宛名のご本人の意見を調査するものとさせていただきます、◎他の設問中の「あなた」を「 <u>あなた（宛名のご本人）</u> 」に改めます。
9	冒頭の説明で「手帳をお持ちの●歳以上の方…」と記載した方が丁寧ではないか？	調査対象は手帳所持者で年齢制限を設けていません（手帳所持者であれば0歳から）ので、特に年齢の記述は予定していません。
10	アンケートについて「計画を策定するための基礎資料とする…」とあるが、前回は回答した人もいるだろうし、アンケートがどのように反映させているものなのかをもう少し詳しく書いた方がいいのではないかと。	限られたスペースで詳しく書くことは難しいため、◎「 <u>計画策定のため3年に1度実施させていただいており、皆様からのご意見を基礎資料として計画を策定し、施策に反映させるためのものです</u> 」という一文を追記します。
11	アンケート冒頭に鎌ヶ谷市の人口、対象障がい者の母数、今回の対象者数（記載済み）の3点を記載してはどうか？	鎌ヶ谷の人口、対象障がい者の母数については、冒頭の説明の分量が多くなってしまうため今回の記載は見送らせていただきます。可能であれば、アンケート結果の報告書などに掲載させていただきます。

1.あなた（宛名のご本人）とご家族のことについて 問1～問9

No.	ご意見	対応
12	問2の性別についての設問について、アンケートの性質上問題がないのであれば削除又は、「その他」や「答えたくない」などの選択肢を追加してはどうか？（性的マイノリティーへの配慮）	◎「性別を選択することに違和感や抵抗感がある場合は、回答をいただかなくても結構です」という注釈を追加します。

2.暮らしについて 問10～問18

No.	ご意見	対応
13	問10について、前回アンケートの問11-1「入所・入院することになった具体的理由」を記入する質問があった方がいいのでは？	入所・入院されている方に限定された質問であり、傾向も前回と大きく変わらないと思われるため。設問の全体量も考慮し今回は設問の追加を見送ります。
14	「暮らし」や「相談者」に「パートナー」を追加してはどうか？（性的マイノリティーへの配慮）	該当する箇所の設問の各選択肢は「家族」や「家族・友人・知人」というものであり、「パートナー」は「家族」に含まれると判断できるため選択肢への追記は見送ります。ただし、◎「あなた（宛名のご本人）とご家族について」の問7・問8に「夫または妻（配偶者）」という表現がありますので、「パートナー」を追記します。
15	問14の選択肢に「食事のことが心配」、問15の選択肢に「住まいのこと」をいれてはどうか？	問14の選択肢は自分での対応が難しい内容について伺うもので「食事のことが心配」という選択肢は一定程度自分で対応できる内容であるため選択肢への追加は見送ります。◎問15の「住まいのこと」については選択肢に追加します。
16	問15 選択肢に「住まいに関すること（具体的に ）」を加えてはどうか？	◎同様の意見が複数あるため、選択肢に「住まいのこと」を追加します。
17	問15 選択肢9について「緊急時における通報・避難方法など」という表現の方が分かりやすいのでは？	◎選択肢を「緊急時における通報・避難方法など」に改めます。
18	問17 選択肢の付番の順序が変？	修正しました。
19	問18において、知的障がいがある人が高齢化すると、健康管理や医療との関わりが必要になるが、医師や病院において障がい者理解が進んでいるとは思えないところもある。この点も選択肢に入れられないか？	◎選択肢に「医師やスタッフの障がいに対する理解が不足している」を追加しました。

4.地域とのかかわりについて 問21～問23

No.	ご意見	対応
20	問20の次あたりに「相談したいと思うことは何ですか」という設問は必要ではないか。たとえば将来の生活、身の回りのこと、生活費・金銭面についてなど。	問15に「…現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。」という相談につながる設問があるため、新たな設問の追加は見送ります。
21	問21～23、問24～29の質問は、本人が障がいがあっても社会と関わって前向きに生きて行って欲しいという想いが伝わる非常に良い質問だと思う。	ありがとうございます
22	問21「非該当」が無いのは理由があるのか？	◎問22、23との整合性がとれていませんでしたので、設問を「どのようなことをして過ごしていることが多いですか」から「誰と過ごしていることが多いですか」に改め、選択肢の「3.障害者団体の活動…」、「5.趣味やスポーツの活動…」、「6.ボランティア活動…」については問22と重複するため削除し、「家族以外の介助者と過ごしている」を追加しました。
23	問22①コンサートや映画…、②スポーツ活動は、「参加」という言葉に違和感がある。「参加・活動」としてはどうか。	◎問22の「これまで参加したことのある活動はありますか…」を「3年程度の間に行ったことのある活動はありますか…」に改め、「参加したことがありますか」、「今後は参加したいですか」などを「行ったことがありますか」、「行ってみたいですか」に改めました。①「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」を「コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦（自宅以外）」に改めました。
24	問23「参加・活動するためには…」としてはどうか	

5.障がいへの理解促進について 問24～問29

No.	ご意見	対応
25	問26 選択肢に「アパートなどの契約」を入れてはどうか？特に精神障がいのある方のアパート等の契約が大家や管理会社から敬遠される傾向にあると思うため。	◎選択肢に「アパートなどの契約」を追加します。

6.地震などの災害時の避難について 問30～問31

No.	ご意見	対応
26	問30の選択肢3「わからない」は不要ではないか。	◎設問本文を「災害時に一人で避難できないとき手助けをしてくれる人はいますか。…」に変更し、選択肢3「わからない」、4「必要としない」を削除します。

7.就労状況について 問32～問35

No.	ご意見	対応
27	問32 選択肢3「作業所など」という文言について作業所という名称は今あまり使わない、生活介護も福祉的就労ととらえての質問なら「生活介護事業所など」と明記した方がいいのでは？そうでなければ「作業所」は削除した方がよいのではないかと？	◎「作業所」を削除します。この設問は、設問33（働いているとき困ること）、問34（働いていない理由）につながる設問のため、工賃を得ているかを基準として削除しました。

8.障がい児福祉について 問36～問40

No.	ご意見	対応
28	P11『障がい児福祉について』とP13『障がい福祉サービス』について、質問の内容が似ているが、片方だけ”サービスについて”というのは違和感がないか？	『障がい児について』では、サービス以外の内容も訪ねているので、”サービス”という文言は用いていません。現状の表記とします。
29	問40 特別支援学校からの進路先として「生活介護事業所」が主な選択肢の1つになっている「生活介護事業所で創作活動を楽しみながら過ごしたい」という選択肢があった方が答えやすいのではないかと？	◎選択肢を「1.生活介護を受けたい、2.生活能力向上のための訓練を受けたい、3.就労移行支援等で職業訓練を受けたい、4.職業訓練校で職業訓練を受けたい、5.企業などへ就職したい、6.上級学校へ進学したい、7.その他」に改めます。
30	問40について、選択肢1、2で用いられている「訓練」という文言が明確ではない。「職業訓練」とか、「生活能力向上のための訓練」などとした方がいいのではないかと？特に2についてはどの事業所が当てはまるのか分からない。	

9.障がい福祉サービスについて 問41～問42

No.	ご意見	対応
31	P11『障がい児福祉について』とP13『障がい福祉サービス』の質問の後に、「利用している福祉サービスに不満を感じていますか」とか「福祉サービスを利用していない理由」などは必要ではないかと？	利用しない理由や不満を感じるサービスを一つずつ伺うことはスペース的に難いため、◎一括してP12の障害児福祉サービスとP13の障がい福祉サービスの質問の最後に「サービスを利用する時に困ったことや、不満を感じることがありましたらアンケート末尾の自由記載欄にご記入ください」という記述を追加します。

(3) 団体ヒアリングについて

No.	ご意見	対応
32	団体ヒアリングについて、精神障がい者、知的障がい者の意見が家族会が中心となってしまわないように、障がい団体に限らず、各障がい福祉サービス事業所からの推薦などの方法もあると思う。ピアサポートなども広がりつつある現在、当事者自身がヒアリングに入っていないのは残念に思います。	今回ヒアリングを行う家族会については、会を通じて当事者の方にもご意見をいただけるように依頼します。事業所からの推薦による当事者からのヒアリングなど当事者からの効果的なヒアリング方法については、次回への課題とさせていただきます。
33	候補の6団体に所属していない当事者や支援者の意見を確認する為、市内の事業所に所属している方も対象としてはどうか？	当事者の皆さんへの意見聴取については、団体ヒアリングと無作為抽出の2,000名を対象とした個人アンケートで対応します。◎事業所への意見聴取については、新たに事業所向けアンケートを準備し意見を伺うことにします。
34	団体のヒアリングにプラスして市内にある事業所及び、支援学級にもヒアリングを実施してはどうか？	◎市内の事業所を対象に事業所向けアンケートを準備します。特別支援学級については、直接各校に意見を伺う形ではなく、◎教育委員会に対して意見を聴取する機会を設けます。
35	以前障がい者のワークショップに参加した際に、さまざまな角度から問題が抽出された。その会には各関係団体、施設や事業所、障害者の家族も参加していた。今回ヒアリング調査の対象団体がほとんど協議会委員の所属する団体であるが対象を広げる必要はないかと？	協議会委員には市内の主だった障がい者関係団体から、協議会委員の推薦をいただいておりますので、ヒアリング調査の対象団体から委員が選出されているケースが多くなっています。今回市内の事業所に対してもアンケートを実施することになりましたので、以前ご出席いただいたワークショップの参加対象を網羅する形になっています。また、ワークショップで出されたご意見をはじめ、テーマ別チームでの検討資料なども資料として委託業者に提供しています。